

NKSJホールディングスが国内金融機関として唯一、 東アジアのCSRトップ30社に選出

2010年11月29日、中国・日本・韓国の専門家で構成するアジアCSR専門家委員会（議長：JU, Chulki氏）が、初めて東アジア3か国からCSRの実績が秀でたトップ30社を選出して発表した「East Asia 30」に、NKSJホールディングス株式会社（以下、NKSJHD）が選出されました。国内金融機関では唯一となります。

1. East Asia 30 とは

韓国ハンキョレ経済リサーチ機関（HERI）が中心となり開発したグローバルなCSR評価基準にアジア的価値を結合した新しい評価基準です。今回初めて日中韓の専門家から成るアジアCSR専門家委員会による評価によって、トップ企業30社が「East Asia 30」として発表されました。

具体的な評価手法や結果の詳細については、ウェブサイトをご参照ください。

http://www.asiafutureforum.org/e_sub_04_01_v.html?num=32&no=1

なおアジアCSR専門家委員会によると、「East Asia 30」は、今後アジア向け投資を行うグローバルな社会責任投資家のためのガイドラインとして世界中で紹介されるとしています。

2. NKSJホールディングスへの評価

評価にあたっては、企業のCSR報告書および世界的なSRIインデックスである「FTSE4Good」の調査機関であるEiRIS社（英国）が調査した企業のESG（環境・社会・ガバナンス）情報が使用されました。その情報をもとに、日中韓の専門家が新CSR評価モデルにより評価を行った結果、NKSJHDの選出という結果に結びついたものです。

3. 今後について

NKSJHDは、今後も継続して、SRI調査機関とのコミュニケーション活動や、CSRに関連する国内外のイニシアティブへの積極的な参加を通じて、先進事例を学びながら国内外での情報発信を積極的に行っていきます。

以 上